



つたえる  
**伝**

**富岡 勝則**

皆さんこんにちは。

草木の緑がまぶしく感じられる季節となりました。公園通りのケヤキの葉も日ごとに色濃くなり、春から初夏への季節の移ろいを感じます。今年は、桜の開花が平年よりも遅く、小・中学校の入学式に間に合うか心配していましたが、4月に入ってからの暖かさのおかげで、ちょうど満開になり、新入生の皆さんの新たな門出を祝福してくれているようで、とてもうれしく思いました。

さて、4月3日から4日にかけて、爆弾低気圧が日本列島を縦断し、強風の影響で電車などの交通機関が大きく乱れたり、建物が倒壊するなどの被害をもたらしました。幸いなことに市内で大きな被害はありませんでしたが、各地で観測史上最大の風速を記録したそうで、朝霞市でもお昼を過ぎた頃から風雨が徐々に強まってきました。私は、市内の状況が心配になり外に出てみましたが、時折吹いてくる強

い風にあおられて、傘が壊れそうになるほどでした。強風のピークが夕方の帰宅ラッシュと重なってしまいましたが、首都圏の企業などでは、交通機関が回復するまで社員を待機させるなど、帰宅困難者が多く発生した昨年の東日本大震災の教訓が生かされているのを感じました。

ところで、現在、市では、防災行政無線やホームページなどで災害等の情報を皆さんにお知らせしていますが、防災行政無線の放送が場所によって聞こえにくいというご意見をたくさんいただいています。情報をより確実にお伝えするためにスピーカーを増やしたいのですが、用地の確保などが難しい状況です。そこで、今年度、新たに、室内で防災行政無線が受信できるAM・FMラジオ付の戸別受信機（防災ラジオ）を購入し、避難場所に指定している小・中学校や保育園、公民館などの公共施設等に設置するとともに、希望される市民の方には、購入費の一部の2,000円をご負担いただき、お配りしたいと考えています。防災ラジオは品薄状態が続いているため、秋ごろの納品になってしまいそうですが、準備が整い次第広報などでお知らせしますので、ぜひご活用ください。私は、情報を伝える手段をひとつでも多く確保することで、災害が起こった時の被害を少しでも小さくしたいと考えています。今後も東日本大震災の教訓を生かしながら、災害に強いまちづくりを進めていきます。ではまた。

## 朝霞市は 男女平等を進めています

～一緒に考えていこうよ①～

人生のいろいろな場面で、夫婦、家族、恋人など、男女で考え方が違ったり、意見が食い違ったり…そんな経験、ありませんか？

そこには、男性と女性、それぞれの“言い分”があったりします。でも、お互いが相手の目線で考えることができれば、よりよい関係が築けるのではないのでしょうか？そんな風に考えて、このコラムではさまざまなライフステージでの男女の言い分を、男女平等推進事業企画・運営協力員が身近にいる男女にインタビューして紹介していくことにしました。

今回のテーマは、「結婚観からみる**独身男子**の言い分」です。

周りの20代後半～30代後半のイマドキの独身男子たちに結婚観を聞いてみたところ、大きく分けて2つの意見に分かれました。

①結婚したいけどできない。 ②結婚したいとは思わない。

結婚したいけどできない理由としては、「自分に合う結婚相手が見つからない。」という理由のほか、「結婚式の費用がない。」「正社員ではない。」などお金に関する悩みが多いようです。

また、結婚したいと思わない理由としては、「良い友だち関係でいたい。」「面倒である。」「まだ時間もお金も自分のためだけに使いたい。」など理由はそれぞれにあるようですが、共通しているのは現段階では結婚することに抵抗があるといったところでしょうか。

さらに、結婚相手に求めるものについても聞いてみると、「手に職がある。」「資格を持っている。」など堅実志向な意見が挙げられました。不透明な経済情勢や社会情勢が影響していることが考えられますが、加えてライフスタイルの多様化、男女間の考え方の変化によって、一家を支える大黒柱は男性であるという考え方も変わってきているようです。

男性も女性も2人で同じ方向を向いて生活できる相手と出会えるといいですね！

(次回のテーマは「結婚観からみる**独身女子**の言い分」です。)

### ひとの推移

人口	13万1,203人 (-43人)	世帯数	5万9,448世帯
男	6万7,023人 (-27人)		(+91世帯)
女	6万4,180人 (-16人)	平成24年4月1日現在( )内は前月比	

\*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

☎/人権庶務課 ☎2255  
☎463-2697